

愛知民報

2019年
11月10日
第2468号

発行所 愛知民報社
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番27号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月 400円 郵送料160円 1部 100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊
愛知民報を
周りの人に



会場いっぱい集まった、「憲法公布 73 周年県民のつどい」。(円内左から) 姜尚中東京大学名誉教授、本秀紀名古屋大学大学院教授＝3 日、名古屋市昭和区

あいち九条の会 憲法公布73周年県民のつどい

改憲発議阻止へ運動大きく

「2020年までの改憲」に執念を燃やす安倍晋三首相は、憲法9条に自衛隊を明記し、海外での戦闘に無制限で参加させる自民党改憲案を準備し、発議を虎視眈々（こしたんたん）と狙っています。これに反撃する愛知県民の運動が広がっています。

あいち九条の会は憲法公布73周年の3日、名古屋市中昭和区の市公会堂で、「憲法九条を守ろう愛知県民のつどい」を開き、1600人が参加しました。

情勢報告に立った本秀紀事務局次長（名古屋大学大学院教授）は、今年の参院選で改憲勢力が改憲発議に必要な議席3分の2を割り込んだことや、各種世論調査で、政治に「改憲」を期待する回答が少数にとどまっていることをあげ、「国民は改憲など望んでいないことに確信をもつ必要があります」と述べました。

本氏は、自民党が参院選後に一部野党の切り崩し・取り込みを図っていることや、全国の小選挙区ごとに改憲推進本部を設置し、演説会を開くなど改憲世論を高める活動に力を入れていていることを指摘。「安倍改憲がとん挫したとみるのは甘い判断。自民党が野党が乗りやすい改憲項目を出そうとしていることにも警戒する必要があります。具体案が出されてからでは手遅れになります。各地の9条の会で学習会や街頭宣伝に打って出ましょう」と呼びかけました。

姜尚中（カン・サンジュン）東京大学名誉教授が「憲法9条と一國平和主義を超えて」と題して講演。姜氏は、第2次世界大戦と朝鮮戦争後の韓国の民主化の歴史、韓国と北朝鮮との対話・交渉の歴史を縦横に語り、「北東アジアの平和構築・非核化には外交が必要。戦争をしてはいけません」と訴えました。

自民ら改憲集会

9月11日に発足した安倍晋三第4次再改造内閣のうち、自民党籍のある閣僚19人中18人が「日本会議国会議員懇談会」（日本）、「神道政治連盟国会議員懇談会」（神道）、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」（靖国）などに加盟しています。これらの議員連盟は、日本の過去の侵略戦争と植民地支配を「自存自衛」「アジア解放」の「正義の戦争」として肯定する立場から、「憲法改正」、天皇や首相の靖国神社公式参拝、「愛国心教育」などの政策を掲げています。

愛知県内では、藤川政人財務副大臣（参院）で、著書で「憲法改正」を主張している「嫌韓」を主張している米国人弁護士を講師に招いた政経セミナーを開いています。

また、12月8日午後1時から名古屋市の白川公園でおこなわれる新天皇の即位を祝う集会の奉祝委員会には、大村秀章愛知県知事、河村たかし名古屋市長や財界人らとともに日本会議愛知本部や県神社庁など改憲・復古勢力の役員が名を連ねています。

しまづ前議員「ふれあい街角演説会」
モラル崩壊の安倍政権に怒り

日本共産党愛知県委員会員の「野党連合政権促進・総選挙躍進・党勢拡大大運動推進全県宣伝キャラバン」の宣伝力ーは、2日に名古屋市中川区と中村区、清須市、北名古屋市、3日には岡崎市、豊田市に入り「街角トーク」をおこないました。

しまづ幸広前衆院議員を迎えた宣伝（3日、豊田市）では、「ふれあい街角演説会」のビラを会場周辺に配布。ビラを見て聞きに来た人もいました。

シールアンケートでは、消費税増税や安倍改憲、「政治とカネ」問題など安倍政権のモラル崩壊に怒りの声が寄せられました。

台風19号被災地救援や沖縄・首里城再建募金が呼びかけられました。



街角トークで「モラル崩壊の安倍政権は総辞職を」などと訴える、しまづ幸広前衆院議員（左）ら＝3日、豊田市